HCT-8□HRT-18）細胞

300210

HCT-8□胞は、ヒト回盲部大腸腺癌□胞としても知られ、元々は回盲部腺癌の 67歳の白人男性患者由来の上皮□胞株である。HCT-8□胞株は1960年代後半に樹立され、癌研究、特に大腸癌の病態、転移、治療反応の研究に広く利用されている。

形態学的には、HCT-8□胞は上皮様で、多角形の単層増殖パターンを示す。HCT-8□胞は接着培養と半懸濁培養の両方で増殖する能力を有しており、これは癌 □胞転移のいくつかの過渡期に特徴的である。この特徴は、がん □胞の浸潤と移動に関する研究に特に有用である。

遺伝子型的には、HCT-8□胞は超3倍体であり、癌の進行や耐性機構に関連する突然変異や欠失を含む、大腸癌によく見られるいくつかの染色体異常を含んでいる。この遺伝子プロフィールは、腫瘍学的研究、特に腫瘍形成と薬剤耐性に関与する遺伝的経路に焦点を当てた研究での使用を支持している。

HCT-8□胞を用いた研究は、癌□胞の増殖、アポトーシス、化学療法抵抗性に関与する分子経路の解明を含め、大腸癌生物学の理解に大きく貢献してきた。この□胞株は、新規治療薬の有効性を調べ、大腸癌の根底にある分子機構を探求する上で重要なモデルであり続けている。

概要

□明

HCT-8□胞は、ヒト回盲部大腸腺癌□胞としても知られ、元々は回盲部腺癌の 67歳の白人男性患者由来の上皮□胞株である。HCT-8□胞株は1960年代後半に樹立され、癌研究、特に大腸癌の病態、転移、治療反応の研究に広く利用されている。

形態学的には、HCT-8□胞は上皮様で、多角形の単層増殖パターンを示す。HCT-8□胞は接着培養と半懸濁培養の両方で増殖する能力を有しており、これは癌 □胞転移のいくつかの過渡期に特徴的である。この特徴は、がん □胞の浸潤と移動に関する研究に特に有用である。

遺伝子型的には、HCT-8□胞は超3倍体であり、癌の進行や耐性機構に関連する突然変異や欠失を含む、大腸癌によく見られるいくつかの染色体異常を含んでいる。この遺伝子プロフィールは、腫瘍学的研究、特に腫瘍形成と薬剤耐性に関与する遺伝的経路に焦点を当てた研究での使用を支持している。

HCT-8□胞を用いた研究は、癌□胞の増殖、アポトーシス、化学療法抵抗性に関与する分子経路の解明を含め、大腸癌生物学の理解に大きく貢献してきた。この□胞株は、新規治療薬の有効性を調べ、大腸癌の根底にある分子機構を探求する上で重要なモデルであり続けている。

ティッシュ	直腸
病気	腺癌

同義語

- HCT 8
- HCT8

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	ヌードマウス
倍増時間	15時間

識別子

引用

HCT-8（Cytion カタログ番号 300210）

NCBI 納税者番号	9606

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

セロサウルス	CVCL_2478

発現と感受性

抗原発現

CDx（+/-）、CDy（-）、

アイソザイム

AK-1、1、ES-D、1-2、GLO-1、2、G6PD、B、PGM1、1、PGM3、1、Me-2、1

変異プロファイル

HRT-18□胞はKras遺伝子のコドン13に変異を持つ：GGC(Wt Gly) >GAC(Asp)

ウイルス

逆転写酵素陰性

製品

Carcinoembryonic antigen (CEA) 0.5 ng/10 exp6□胞/10日、アルカリホスファターゼ、ケラチン

取り扱いと飼育

培地

DMEM:Ham's F12 (1:1)、w: 3.1 g/Lグルコース、w: 2.5 mM L-グルタミン、w: 15 mM HEPES、w: 0.5 mMピルビン酸ナトリウム、w: 1.2 g/L NaHCO3 (Cytion製品番号820400a)

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml、T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml、T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	2~4 × 10^4 □胞/cm^2
流体の更新	週2~3回
解凍後の回復	速い

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	67年

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB